

かはな魚信

1996年8月1日

Vol. 8

発行 北川かっぱの会 東村山市野口町 3-11-8

三島方 Tel 0423-91-2365

夏だ！祭りだ！

歌えや踊れや号



Tomomi M.え

清流めざし会員一〇〇名突破まじか
わんぱく夏祭りにかっぱの会も集まれ！

河童屋吞兵衛―巻頭言担当の三島編集長が長期海外出張のため臨時編集部は困っているらしいよ。

おかつぱマキ―編集長はバリ島で楽しい探検隊と超豪遊って噂。ここはかつぱ連が巻頭言に乱入って感じて紙面を独占しちゃえばあ。

吞オジ―乱れた言葉使うなよ。

マキ娘―北川かつぱ女子大生だもん。でも超乱れているのは川の方。カヌーイストの野田さんの本を読むと、昔の正しい日本の川がじゃんじゃん減っているしーい。

吞オジ―とりあえず身近な川をキレイにするためかつぱの会に入ろうかな。今ならちようと百番目の会員証をもらえるかもなあ。

マキ娘―わんぱく夏まつりにまいこー。私みたいなカッパ・ギャルも来るし超サイコーって感じーい。

「第5回かっぱサロン」開催 市民と行政とのパートナーシップとは？

第5回目を迎えたかっぱサロンは、6月22日、市民センターに講師の市環境部長大野氏を招き、市民と行政のパートナーシップについて考えました。

大野氏からは、日本の地方自治の歴史解説にはじまり、市民参加方式として直接話し合い型などを分類・説明、何故パートナーシップが必要なのか、その形式はどのようになされるのか、等の話題提供がありました。

その後のディスカッションでは、参加者から、情報公開のあり方を問う声や、意欲ある市民の声を活かすべき、という声があったり、行政と市民が日常的に会話すべき、といった意見もありました。

正しい情報の収集・提供の中から、市民と行政の相互理解が生まれ、その上にたつて話し合いがなされ、決定される。その過程こそが真の民主主義ではなからうか、と感じた次第です。

水と緑の市民懇談会

第2回会合レポート

7月4日午後7時、市民センターで2回目の会合が開かれ、市緑成課と市民5団体が参加。

今回は「市民懇談会」の場でのようなテーマで話し合うかを議論しました。かっぱの会では、情報公開、計画への市民参加、水と緑の保全再生への市民参加、意識啓発、の4点を提案。

●かっぱの会もまた
新聞に登場!!

市民団体と又々ラム

東村山市 「公園建設」対立から一転

東村山市の公園建設問題が、市民団体と市との対立から一転、市民と市との協力をめぐるものへと変化した。市民団体は、市が公園建設を進めるにあたって、市民の意見を十分に聴き取り、市民の要望に応えるよう求め、市は市民の意見を十分に聴き取り、市民の要望に応えるよう求め、市民と市との協力をめぐるものへと変化した。

かっぱ川遊び探検隊 —高麗川で魚と対面—



7月20日海の日、魚研究家の君塚芳輝氏を講師に迎えたかっぱ探検隊総勢40人は、西武線東吾野駅付近の高麗川川辺で川遊び兼観察会を行いました。

台風の影響か、前日までの暑さはありませんでしたが、雨にはたたられず、そこそこの川遊びのコンディション。水中メガ

ネのくもり止めにヨモギ汁を使うことから始まって、川の特徴、魚の生態や観察の方法を講師

から聴きながら、子どもも大人も日がな一日川と戯れていました。昼にはかっぱ探検隊お得意

の豚汁とビールで和気あいあいの。夕方4時頃までに十種類程の魚に出会えました。鮎にもあ

柳瀬川流域川づくり市民懇談会の報告

6月29日、柳瀬川流域川づくり市民懇談会で、流域中流部のフィールドワークを実施しました。

梅雨の晴れ間の一日で、参加者は約50名。輪が広がっているようです。

所沢市と東村山市の境で開発に直面する雑木林や、清瀬市では空堀川の旧川に市民が自

身近な川の一斉調査の報告

6月9日、北川等の市域の川を約20名の参加で水質調査。

その結果、北川のCOD値(水中の有機物量の目安)は、源流は良く、下流に行くほど汚れて(分類「やや汚れた水」)いました。しかし、昨年よりかなり良くなっています。下水のたれ流しを減らすことが、北川らしい清流の復活につながります。

然公園を提案している現場、柳瀬川では河川改修の問題現場を見たりと、流域の自然環境が直面する問題にふれました。今後の懇談会のあり方を考えさせられる一日でした。

COD(mg/l)	狭山公園内	民家園前	前川合流前
昨年	5	20	10
今年	0	5	6

夏まつり実行委員会にかっぱの会も参加！
当日のボランティアを募集します。

おまつり成功のため一口500円のカンパにご協力をお願いします。
しやれたTシャツ(1500円)も資金づくりのため販売中です。連絡先 三島 91-2365



ポイントもや採りの
ブルースポイントの
生演奏もあるダ

オとみどり
あみ丸
街か

仕事も勉強も忘れて
原休みの日。オトナも子ども
思いきりわんぱく遊びたいー!

わんぱくTシャツ
現在中1500円です

北山わんぱく夏まつり

9.8.4(日) 北山公園
9:00 ~ 17:00



この森で何とも見よう
あつたの野外映画会

となりのトロ

PM7:00~9:00
北山小学校校庭へ
(雨天の場合は体育館)
入場料 無料



お祭り参加者
お忘れなく

主催：北山わんぱく夏まつり実行委員会
後援：東村山市、東村山市教育委員会、東村山市商工会

連絡先：東村山市緑政課(担当：根建 ☎0423-93-511
もしくは 事務局 三島 ☎0423-91-2365)

面白グルーブ探訪 第2弾

イースト・ビレッジ・

マウンテン・バンド紹介

メンバー5人のうち3人が東村山出身のブルース・バンドだ。地元でブルース・バー「ジューク・ジョイント」を開き、この街でライブを楽しめると、河童も大感激。メンバーの共通の趣味はサーフィンで、自然の中で遊ぶのが一番のこと。子どもの時に北川で遊んだメンバーもいる。かっぱの会にも協力的で、わんぱく夏祭りにも出演してくれることになった。店はいつもブルース曲が流れ、メンバーが集まれば演奏もやる。毎月最終金曜日がセッション日。月2回土曜日にゲストを迎えライブ。夜8時〜深夜1時までが営業時間。野口町1・15・6、小山ビル。電話 94-4548。かっこいいミュージシャンが貴女の来店を待っているぞ。

(取材・マッド渡辺)



会員情報—個展案内

来る9月3〜8日、新宿中央公園内新宿区立区民ギャラリーにて、みはしまり展—EXIST・

VOL.1 が開催される。水墨の作家

生活十年に自ら生み出した波動画と称する半抽象画二十点で、

水・気・墨・時の調和がかもし

出す摩訶不思議な世界を展開している。入場無料、開館時間は

10〜18時(初日16時まで)。

詳細は、みはしまりアトリエ

03-3350-5387 まで。

連載

木の葉流せば【一】

菅野結花

侵食が繰り返され風の通り道でもある川辺は、旅立った植物の種にとってまたとない着地点であり、水際は非常に生命密度が濃い場所である。流れを利用して遠所に侵略してゆくものにドングリやクルミがある。時には疲れた顔をして海辺の浜に上げられているものもあるが、運が良ければ中州などにひっかかって芽を出し、いつの間にか島になったりする。

自然はしたたかで姿を変え易く人は細かいバランスの事で一喜一憂しがちになるけれども、本当に気まぐれなのは人の心である。時には足を止め流れのベースに耳をすまし、木の葉を流せば、何もかもふつふつと思いつけるかもしれない。

第6回 かつば探検隊のお知らせ

「学校の中に川がある？」——日野市潤徳小学校を探検

子ども達を見ていると彼らには本能的に川で遊びたいという願望があるように思えます。その

す(右記参照)。

今回の探検隊は、北山小学校と

んな声に添えて、何と学校の中に川を引き込み、環境学習を實踐している小学校があります。

●9月8日(日) 13:17時、北川の豊かな関係を探るため、日野市の潤徳小学校を訪問します。

建設省でも、このような学校と水辺の豊かな関係づくりを手助けするため、「水辺の楽校プロジェクト」をスタートさせています。東村山駅東口交番前13時集合、講師は日野市水路清流課笹木氏、申し込みは三島 0423-91-2365。

水辺の楽校プロジェクトとは?

建設省が平成8年度からスタートさせた画期的な川の事業。全国の小学校近くの川を対象に、自然を豊かにしたり、遊歩道や川へのアクセスをつくる、安全対策を整える、等して、子ども達の環境教育に川を活用しようとする事業。

8月24日(土)にシンポジウムあり (Information 参照)。



バロン宮本の川の辛口講座

【第5回】——多自然型川づくり

は川を救えるか? (その3)

多自然型川づくりをするためには、川の多様な生き物の生活をよく把握しておく必要があります。

生き物は、どこで生まれ、育ち、何を食べ、洪水の時はどこに避難し、どこで卵を生むのか、これは生き物の種類によって異なります。

また、それを支える川の多様な姿もよく調べておく必要があります。

川は蛇行して、瀬と淵を繰り返して、洲に河原をつくる等、多様な環境を構成します。これは洪水等の流れの作用によるものです。また、北川は川底に泥が多いが前川は石が多い等、川の個性もあります。

このような検討がないと、どこかの物真似をしたり、石を配慮なく使ったり、護岸だけ考えて川底を平らにしたり、という見当違いにつながります。

(次号へつづく)

かっぱの会会員募集中

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全と、その前を流れるかつての水ガキの生息地北川の清流復活という2つの大きな夢をもってつくられた「北川かっぱの会」も会員数が早くも90名を数えるにいたりました。

自然が大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集いたします。ノンビリ、楽しくがモットーの会です。どうぞご一報下さい。

会費：年間3,000円。
かわいらしい会員証とかっぱ通信(隔月刊)をお送りします。
かっぱ例会：毎月第2土曜日。
問い合わせ・申し込み先：
〒189 東村山市野口町3-11-8
三島方 TEL 0423-91-2365
会費振込先：
郵便振替 00120-6-104476
(加入者名北川かっぱの会)

編集後記

巻頭言に記したように編集長海外逃亡中のため今号に限りマッド渡辺とバロン宮本が編集を担当しました。

夏まつり終わればかっぱ夏休み、ということで、公式行事は9月8日のかっぱ探検までなし。海・山・川に突入して充電だ！

Information

- 水辺の楽校シンポジウム
川を子どもの環境教育の場に。
日時：8月24日(土)13:00~17:30
場所：調布市文化会館たづくり
資料代：300円(高校生以下無料)
共催：水辺の会・みくり、調布市教育委員会
申し込み：0424-87-3091(このの)
- 収穫祭・パン焼き石釜づくり
日時：9月28日(土)
場所：我孫子市・草木エコファーム(東村山からの出発あり)
主催：山川草木社
問い合わせ：03-3928-6825(柳沢)
- このコーナー掲載記事募集！
市民のイベント等の情報を募集しています。詳しくは北川かっぱの会まで。

8月のかっぱの会例会はお休みです。次回は9月14日(土)の予定。

